

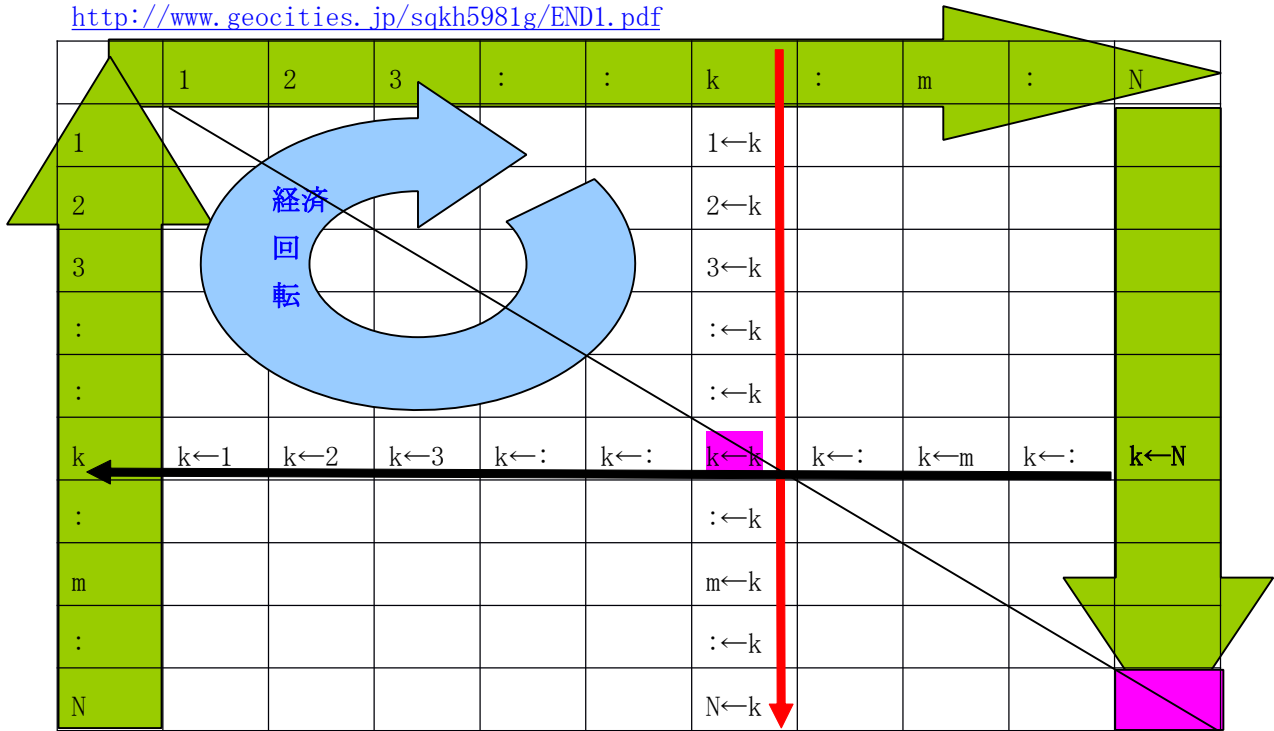
一歳入激減-歳出激増の政府模型一

'09/7/7.

今後の景気後退次第では歳入激減は必須、しかも不況下国民への生活保障は激増、究極の経済回転模型を以下に提示。国民余剰を国家全納すると定常経済が可能？。

[0]:超基礎序論：経済本質が一発で判る収入支出行列(超帳簿)：経済回路網詳細は以下。

<http://www.geocities.jp/sqkh5981g/END1.pdf>



(1)既成自由経済：

{1, 2, 3, ..., k, ..., m, ..., N}は家計, 企業, 国家, 海外等の独立採算の経済活動単位。黒矢軸は各経済主体からの収入(物サービス提供)を意味、赤矢軸は支出(物サービス購入)を意味。対角線要素  $(k \leftarrow k)$  前年度の{+余剰、-借金} = 年間(総収入-総支出)に相当。経済とは経済主体による支出采配が各自への収入分配に働く回転である事が上図から見える。

(2)国家一族経済模型(最低所得保障の経済)：ラクイラ財務警察が必要です！

世帯困窮では全員稼ぎを一度全納、後に必要に応じ分配の共に生きる経済になるのが常識。不況と生活困窮とは上の個々多種多様な経済回転のトグルが消えてしまう事だ。だから最低限度の回転強制保障として可能な循環こそが上記の  $N = \text{国家上納(納税)}$  と国家からの所得再配分の経路。一つ有効な鍵になるのは通貨管理能力を持つ国家余剰負債要素  $(N, N)$ 。究極模型として全国民-企業が余剰(預金0)にして国家全納するとインデフレの無い定常回転する事が判る？。最悪国家財政破綻では問題通貨を政府クーポン券にして代行する。物不足が起きたら？、皆様で分かち合う？！、因みにGMも今では国営生活保護状態、企業に幾ら分配保障するかは有事統制経済系の勘定に相当。とりあえず原理提供です。